

刊夕日卅月五



定価 一部全紙式 五十五銭 郵費別
廣告料 五銭 十二字 一行 五銭 廿五
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

忍辱の行

眞 繼 雲 山

人間の心は、時に神佛に近しいものとなり又時に禽獸以下に降る場合がある、一心に十界を互具する所以である。

禽獸は自ら生きんがために相食み相争ふことがあるけれど、それ以外の精神的欲求といふものがない。然るに人間は自ら生きんがために他を排するばかりでなく、己れの名譽のために他を陥れ、他を嫉視し、他の禍ひを好み、他を辱かして以て自ら快とする性癖がある。こゝに至りて人間の性は、その淺ましいことに於て、遙かに獸心以下といはねばならぬ。

佛は夙に這間の消息を知ろし召し、六波羅密のうち忍辱の行といふを説き示されてある。六度とは菩薩たるべき重要な條件資格である。そのうちに特に忍辱の行を高調してゐたまふことは、人間として辱しめを忍ぶ一事が如何に大いなる難行道であるかを察せしめられる。

黄石子は『山嶺なるは崩る』といふてゐる。私は敢へてキリストが忍辱の行者でなかつたといふのでない

けれども、彼れの言行は激越峻厲いやくも苛借しなかつた爲めに僅か三十三歳にして十字架上に非業の最後を遂げた。

それに比べると釋尊は衆生救済の爲には、その身の如何に貴重なるかを知り更らに衆生救済の爲めの故に常に隱忍自重身を持する謙虚にして、他を待た寛廣であつたことは、史實に極めて明らかであり、その點に於て釋尊御自身は正しく忍辱の體験者であつた。

殊にその教團の盛大を加へ來つた成道五六年頃の草創時代にあつては、その成功を嫉視妨害せんとする異端者の反對運動は漸くにして熾烈を加へ、遂にその身邊すらも危険を思はしめる大小の事件が頻出した。

傳説によると釋尊は成道第六年の安居に於て、神通力を以て刀利天に昇り、生母麻耶夫人のために三ヶ月間、説法されたといふことになつてゐるが、實はこれ身を轉じて遠く西方僧伽舍に難を避けられたのであつたといはれる。成道第九年のときにも戒律の問題から一部のものが

釋尊に叛いたときに、佛は深くこれと争はず身を轉じて遠く他の林中に入り、翌年に彼れ等の懺悔して來るまで靜かに時の推移を待たれたこともあつた。

諺に、喧嘩兩成敗といひ一方が聖者である場合には争ひは起らない筈とも思はれるが、人間の心中に、他の成功と平和とを羨み羨みやみ、これを傷け辱しめて自ら快とする心性の宿つてゐる間は、聖者の生涯といへども亦た多難である。この故に世界三聖の行路、概ね坦々たることを得ず。キリストが若年にして非業の死を遂げたるに比し、釋尊の一化五十年の長い御生涯こそ、如何に多くの忍辱の行が伴ふたことであつたらうか、六度の行中、忍辱の二字あるは偶然でない。

佛は遺教經においてのたまはく
忍の徳たるや苦行持戒も及ぶ能はざるどころ能く忍を行するものは即ち名づけて有力の大人となすべし。若し夫れ惡罵の毒を歡喜忍受して甘露を飲むが如くする能はざるものは入道智慧の人と名づくべからず

出曜經に曰く
百千の敵に對し一夫にしてこれに勝つとも未だ自

らに勝ち忍ぶの上なるに如かず云々と。
辱しめを忍ぶことを得ずして、やゝもすれば瞋恚の火中に、報復の刃を磨かすにあらぬといふ末世のわれ、佛弟子は、たゞこの忍辱の教への故に涙を以て

釋尊の足跡を拜し我が佛性を見出だし得るのである。他を辱しめて快とするものと、相手のその快味を滿喫するに任せてこれを忍び得るものとの間には佛と獸との隔りを見るであらう

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
硝子 食器
葉子 壺
其他各種

松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町 電話五九七番

武者人形、御座敷職、外職
大布鯉一式大特賣

五月人形
例年の通り大勉強を以ておつとめ致します。

菅野屋
何卒御来店をお待ちして居ります。
平四丁目

端午の節句の御祝品に!
戦勝人形や武者人形
甲冑陣笠太刀太鼓
御座敷職に外職、布大鯉等、等、
澤山取揃へてあります。

スガノヤ提灯店
平町四丁目(電話九五番)

御座敷職セツト
武者人形 金四圓より
金四十五錢より
金四十錢より
金一圓卅錢より
外職 二巾

五月人形大形出賣
◎戦勝の節句にふさわしく
勇ましい尙武人形
凱旋桃太郎、鐵甲金太郎
等々、新形人形取揃へました。
五月杵飾りセツト
八圓より二百圓迄各種
◎東京一流名工作品オンパレード
◎外職、大布鯉、一式大特賣
二丁目のフクタヤ

醫學博士名推獎
胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器
特卸治 福島縣平町五ノ廿八
約代理 志賀齒科醫院
販理療 福島縣平町白銀町九
賣部部 産婆 關口悦子
定價表
金拾參圓 藥及特效サツ五週間分付
金拾圓 藥及特效サツ五週間分付
(説明書呈)

武者人形座敷職
特價賣出し
平三丁目
金太郎玩具店
戦勝の節句は相應しい尙武の氣盛かな武者人形を始め二勇士及び勇ましい甲冑類を豊富に取揃へて特價に販賣致します。何卒御来店を御待たして居ります。

月曜言論

主子の連鎖

尖端的に走る時代傾向の現れとして人々の心は益々利根的な浮薄なものに陥り易い、そして總べてに對する破壊的な見解が遂には己れ自身に迄も反逆を敢て爲さしむるに至る、残る處は滅亡以外に何ものもない、

一人の店員が長じて一戸を構へたとする、然るに夫れが唯、己れの努力奮闘或ひは力量手腕に據る事のみと考へ、自からも感むるものであつたとすれば、夫れは結局單なる自分免許以外の何ものでもない、一戸を構へる社會人としての資格を確實に把握する事が出来る段階に達し得たのは、何れの場合でも境遇の事情と

然るに人間は自らの心を恃み過ぐる癖から脱却する事が出来ない、そして舊主への恩義といふ様な事は弊履の如く忘れ去る、時代の尖端化と共に此の虚偽な悪癖が人々の心を毎日に蝕んで行き人々をして眞實の

界から遠ざからしむる事は誠に呪はしき事實である。最近、新川町雜貨店丸長商店に奉公した人々に依つて組織さるゝ松陸會が舊主への恩慕と感謝の誠意を披瀝して盛んな謝恩的總會を催した事實。また古鍛冶町鹽屋本店の直系一門相寄り若主人の天杯拜授を悦び同家の人々を招いて新舞子に一日の清遊をこゝろみだが如き、是等は何れも主子の關係の如何に美しき連鎖で

あるかを肯かしむる喜ばしき情誼の現れであり、人心浮薄に傾かんとする時、當然過ぎる此の舉措が正に衣服の清涼劑たる輝きを持つて世に範をたれ得るものと信ずる、只吾々は此際『此の主あつて此の子ある』事を知ると同時に『此の子あつて此の主』ある微妙な提携が世に裨益する事實をも併せて考ふべきであると思ふ。

災害復舊工事

許可される

愈よ十月頃から一齊に着工豫定

平土木監督所より過般縣に提出されて居た災害復舊河川改修工事廿二ヶ所工費四万圓の補助申請は此程許可の指令に接したので十月頃より一齊に着工すべく目下準備に忙殺されて居るが同

工事の各村別制は左の如くである 大野村四 平外二ヶ村水 利組合三 赤井村二 鹿 島一 川部六 田人一 勿來一 上遠野一 植田 三 合計二十二ヶ所

平町在住の

警中生監督

各教諭分擔して

警城中學校にては今回平町在住の生徒三百卅六名を監督すべく是れを十一區に分ち左の如く各教諭が監督する事になつた

- 一區 八幡小路 道匠小路 久保町 七軒町(佐)
- 二區 大村 樋口 沖原
- 三區 胡摩澤 北目(豊)
- 四區 渡邊 横井 庄司
- 五區 仲間町 四軒町
- 六區 鐵道以北(梶原 廣田 中柴)
- 七區 城山 間門 杉

平町徴兵検査

花柳病なし

成績頗る優良

甲種合格者氏名

平町本年度壯丁の徴兵検査は去る廿八日平第一小學校に於いて執行されたが本年度の受檢壯丁数は百七十一名で一名の事故不參者なく其の内甲種合格者は四十二名、第一乙種が三十三名、第二乙種が三十名、丙種が三十八名、丁種が十一名で花柳病患者一名もなくトラホーム患者も例年より少なかつたとの事である因に甲種合格者を比較すると昨年は二割八分で本年が二割五分であるから昨年より約三分減であると甲種合格者氏名は左記の如くである

- 一 五十嵐孝次 吉野今朝松 高橋健也 青木又七 永島道雄 有坂榮吉 齊藤要吉 江口勇 小林治 佐々木正雄 福田正一 平松明友 岡野竹夫 多勢富彌 八鹽睦夫 野上重男 濱田政治 中川正長 秋山清太郎 多田庄一 鈴木重造 鈴木定光 伊藤勇 金成龜太郎

- 平(山崎 館野 小松)
- 五區 長橋 研町 古鍛冶(河野 下平)
- 六區 紺屋町 材木町 土橋 搔植小路(廣木 中島 米澤 大浦)
- 七區 大町 仲町(鈴木 柴田)
- 八區 一、二、三丁目(梅)

- 森 國分 高清水)
- 九區 四、五、六、七丁目 鎌田 白銀 大工町(菅野 吉田 谷澤 本多)
- 十區 田町 新田町(大橋 名尾 今野口)
- 十一區 南町 新川町 鍛冶町(近藤 橋本 山名 根本)

豚コレラ

八方に擴がる

錦村の蓄豚家が大恐慌

既報茨城縣大津町より侵入せるものと見られて居る石城郡錦村大字大倉赤津芳之助方飼養豚の豚コレラ發生と共に其後調査の結果同字内に蔓延せるものらしく山形松太、大平善二、大橋友

太郎、橋本クラ方等にも相前後しに一頭づゝの豚コレラを發見直に撲殺したが同方部は縣下でも有数の養豚地の事として養豚家は大恐慌を來して居ると

避暑客吸引に

新舞子の準備

無料脱衣場や賣店 大浦青年打合

石城郡大浦村青年團では去る廿八日午後一時より同村小學校に於いて幹部會を開き夏期に於ける同村新舞子避暑客の爲め無料脱衣場及び賣店を設け一方吸客宣傳を行ふに就いて打合せた

平第一競技

最高記録

保持者

平第二小學校にて去る二十七日開催した運動會の各學年最高記録保持者は左の如くである

- △五十米 尋四大木マサ(八秒九)同渡邊ユキ(同)
- △五短田カヨ子(八秒二)
- △尋六丸山カイ(八秒二)高一
- △武田早苗(七秒八)高一
- △和田登美(七秒八)
- △百米 高一武田早苗

法曹勝つ

平第一對庭球

平法曹團對平第一小學校職員の庭球試合は既報の如く一昨日午後一時より青年學校コートに於て舉行されたが決勝戦左の如くで法曹團の勝に歸した

- 第一 法曹 横田 2-3 小野 松本 2-3 大野 藤田 1-3 小野 小林 1-3 大野

体操研究教授

平第一小學校にては本日午前十一時より小林訓導が尋常科四年生に對し体操の研究教授をなし終つて職員一同にて批評會をなした

平職業紹介所報告

- 求人者の部 △農夫 二十三迄 尋卒 年七十圓(内郷村某)
- △女中 二十前後 尋卒 給料面談(平町某)
- △農夫 四十以下 委細面談(鹿島村某)
- △求職者の部 △小商店員 十七才 高卒 給料面談(湯本町某)
- △事務員 二十六才 工業 給料面談(愛知縣某)
- △配達 二十三才 尋卒 給料面談(好間村某)

名義を貸したのみで

二千圓詐欺

圖太くも訴訟を提起し

勝訴の判決を受く

平検事局俄然活動遂に收監

石城郡上遠野村大字上遠野
鈴木子之吉(五)は大正十一
年三月頃同村瀬谷義春に對
し抵當權設定の下に金二千
圓を

貸付けたる處返済せ

ずとの事にて昨年十月平區
裁判所に貸金請求の訴を提
起し勝訴の判決を受けたが
事實は瀬谷義春が自分の財
産を保護する目的を以つて
二千圓借金あるが如く装は

ん爲め子之吉の名義を借用
し抵當權を

設定したのを子之吉

は奇貨とし裁判沙汰に及び
遂に前記の如く勝訴したも
のである事が最近に至り判
明し検事局の活動を促すに
至り子之吉を召喚取調中の
處昨日横領詐偽罪として平
刑務所に收監豫審に廻送さ
れた

就職口なく

自殺を圖る

轉々歩き廻つた

北海道の旅舎で

照會が有つた

石城郡湯本町字上町鈴木留
吉弟政雄(四)は北海道方面
にて就職せんと各地を轉々
して居たが思はず就職口
なく廿八日午後三時頃網走
町驛前藤間旅館に於いて悲
感の餘りカルモチン自殺を
圖り發見され應急の手當を
受け生命は取止めた由にて
昨夜網走署より平署に身元

少年賊

検事求刑

既報田村城小野新町生れ目
下住所不定吉田幸三(七)假
名に對する窃盜事件の公判
は去る二十八日午後一時よ
り平區裁判所に於て竹内判

在滿兵の

家族慰問

平町在
郷軍人
分會、愛國婦人會、青年團
の各幹部は平町出身在滿兵
士十七名の家族を慰問する
爲め昨廿八日午前十時より
町役場會議室に集合し夫々
家族を訪門し慰安するとこ
ろが有つた

鯉漁前に種痘

石城
郡江名町の各漁業家は目下
鯉漁準備中なので出漁前に
本年度の種痘を行ふべく去
る廿八日各區衛生區長船主
が町役場に參集種痘日割の
件に就いて協議を行つた

手長女給捕る

虚榮心が強く

盗みを重ねて

石城郡内郷村字高坂齋藤ウ
メ(七)假名は本月初旬迄平
町南町カフエータイガの
女給として働いて居るうち
同僚の衣類を窃取せる爲め
平署に檢舉され嚴重取調の
上先づ實家に歸宅を許さ
れて居た處去る廿八日午後
一時頃同人の親戚に當る同
村字綴雜貨店木村ユキ方の
留守を依頼され算筒の中よ
り現金三十四圓を窃取せる
事發覺再び平署に檢舉され
たが外にも數件の窃盜ある
らしく同人は非常に虚榮心
強く其の爲めから罪を重ね
るに至つたものであると

本年度トラホーム患者五十
九名に對し去る十五日より
校醫星恒明氏が治療をな
して居たが本日の再診査を行
つた所全治者十二名あり成
績良好であると

平局の

各課對抗

野球戰

平郵便局各課對抗の野球戰
は昨日午前十一時半より第一
小學校グラウンドに於て舉行
されたが戦績は
保 險 10 — 6 郵 便
電 信 7 — 10 集 配
で第二回戰は左の組合せに
依り來月五日午前十一時よ
り第一小學校グラウンドに於
て舉行すると

保 險 — 電 信
郵 便 — 集 配

明日の天気

今晩は北西の
晴れ明日は南東
の風晴れ

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「蟻」横山桐郎
後八、〇〇 清元「色彩間
菊豆かさね」清元梅壽太
夫外
後八、五〇 長唄「安宅の
松」松永和幸外
後九、三一 奉天より

明日の部

後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告
前九、一〇 料理献立「卵
と豌豆との縁巻」中村光
三
前一〇、三〇 家庭講座
「新時代の婦人書簡文」一
服部嘉香

後〇、〇五 管絃樂 東京
ラヂオオーケストラ 指
揮瀬戸口藤吉
後二、〇〇 家庭大學講座
「現代の光涙」文學博士椎
尾辨匠

後六、〇〇 子供の時間
後七、三〇 義太夫「さわ
りの夕」(生寫朝顔話)竹
本静香、豊澤仙玉(壺坂
靈驗記)竹本駒吉、野澤
象造(心中天の綱島)竹本
素昇、豊竹巴住(三十三
間堂)竹本綾千代、竹本
重八(伊勢音頭戀又)竹本
伊達子、豊澤猿身

行商に出掛けて

行商不明となる

父親が心配して搜索願

安積郡福良村字立砂齋藤長
太郎長男久(三)は去る廿三
日平町内郷方面にて呉服類
の行商をして來ると出掛た

借金を返済せず

妻の名義亂用が

發覺して起訴さる

石城郡草野村大字下神谷字
中川原居住新妻國造(四)は
昭和四年十一月平町南町山
下三次より妻キン所有の物
件を抵當となし夫婦連帯に
て金千五百五十圓を借受けて
返済せず端なくも妻の實印
を勝手に盗用した事が判明
平検事局にて取調中の處詐
偽罪として起訴された

平町人事

回 出 生
△長橋町二一松本熊五郎氏
二女ヒチ子
△五色町四六小野寺新藏氏
長女寛子
回 死 亡
△四軒町四渡邊美子(一八)
△大工町一六柳沼長吉(三
〇)
△長橋町五五坂本武弘(四
ツ)

深夜洞窟内に

焚火する老人

親子喧嘩の末に

飛出して此始末

昨夜十時頃平町舊城跡地内
洞窟に一名の老人が焚火し
て居るのを火防組員が發見
し平署に引渡したので取調
べると同人は搔搔小路木炭

商永田友吉(四)の實父勝治
(七)であるが親子喧嘩の結
果家を飛び出し前記洞窟内
に住んで居たとの事にて友
吉を平署に呼び出し説諭の

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤藤紫雲畫

第六十二席 真庭念流達人櫻井五助

金五郎方に逗留

武藏屋金五郎は五助に對

ひ
金『あなたは剣術の先生と
でございませうが、江戸へお
出でになつたは定めし道場
をお出しなさるとか、また
大名に御奉公をなさる思召
しでございませう』

五『當地不案内の拙者の事
何んなりとも身の立つやう
に御盡力上さらば有難く存
じます』

金『さうですな、源太郎か
らもお聞きでございませう
がわたしは髪結の元締で、
お前さんも髪結で剃力を一
丁持つたま、此處へ来て何
んとかしてくれと云ふなら
ば昨日にもありつくやうな
お世話いたしますが、劍術
の先生では私共とは稼業違
ひ、それゆゑ充分のお世話
出来ませうが、わたくし
の力で出来ることだけはい
たしませう』

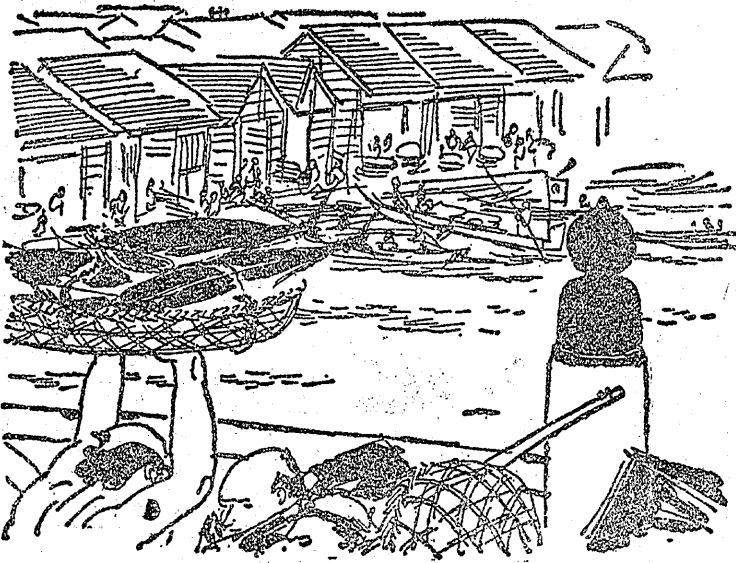
五『それは千萬泰ない、御
覽の如く田舎侍で殊に武骨
者よろしくその邊御承知の
上お世話下さいませう』
金『承知しました、そこで
先生何うしてあなたは榊原
家を御暇になりましたか、
問はれて今迄の事を詳し

く話した
金『判りましたお話のやう
す、ではあなたには悪い處
は少しもない、しかし重役
に睨まれては御奉公はなり
ませう、まアまゆつくり
茲に遊んでお出でなさい、
井先生の供をして盛場の案
内をしる』
長『承知しました、デッ先生
すぐ出がけませうか』
五『暫時待つてくれ』
とこれから支度をした手

れを見てゐた分子が大した
食客が来たぜ、百五十兩出
すとは此の人は變り者だと
云つた、こゝで五助は金五
郎のもとに足をとめること
になつた

金『先生、お前さんは初め
て江戸の土を踏だ方だ、二
三日見物をなさい、案内に
は若い者を付て遣りますか
ら、オイ長太郎、今日は櫻
井先生の供をして盛場の案
内をしる』

長『承知しました、デッ先生
すぐ出がけませうか』
五『暫時待つてくれ』
とこれから支度をした手



そのうちには又好い風の吹
く事もございませう』

五『ついでには親分茲に金子
が百五十兩ござる、道場を
出すことになれば、これに
て一切を支辨いたす所存、
どうぞそれまでお預かり下
さい』
と、この金を渡して、こ

縣の股引、袂せな扮装、時
は十二月の中は過ぎ
長『先生、寒うございます
ね』

五『左様さ、寒中であるか
ら冷えるは當然なれど、今
日は雪がつもつて居るとみ
えて空も曇り居る、しかし
拙者の生れた越後の高田と
くらべるとまだ江戸は暖か
だな』

長『さうでござんせう、然
し風が吹くので困ります』
五『江戸は三十里四方に山
のなき所とて風は強いな』
長『からつ風は江戸の名物
でございませう』
五『オウ、こゝは日本橋だ
な』

長『右の方は生河岸でござ
います、戸板一枚で朝の内に
千兩の商賣をするはこの魚
岸河より他にはありません
い』

五『流石は將軍家の御在所
開しにござる江戸は繁昌な
土地だの』
長『まア何んでござますね
同じ日本に生れるならば江
戸の土地で産聲をあげた者
は仕合だ、住めば都と云ふ
事もございます、それに
ね先生、江戸の大した土地
の印には大門通りへ行くと
釣鐘の出来合がござます、
あんものをこしらいて置た
ところへ買ひに来る者なか
らうと思ひますが、賣れる
から釣鐘までこしらいて置
きやす』

五『さうであらう、江戸は
町並も立派であるが只一つ
悪い事があるが、それは何
んだと云ふに松並木がない

夏は日影がなく往來いたす
者が困るであらう、これで
並木さへあれば結構な土地
だ』
長『先生冗談云つちやアい
けません、江戸の町へ松並
木などをこしらいるものか
ね、そんなものがあつては
家を建てる事が出来ませ
ん』

と話しながら筋返見附に
かゝ御我街道に出て廣小路
から三枚橋を渡つて上野に
来た。

夏は日影がなく往來いたす
者が困るであらう、これで
並木さへあれば結構な土地
だ』
長『先生冗談云つちやアい
けません、江戸の町へ松並
木などをこしらいるものか
ね、そんなものがあつては
家を建てる事が出来ませ
ん』

内小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院應需

平電 五七〇番
町屋 七〇番

御用命は總て

印刷物の

常警日印刷株式會社

電話三六〇番

專門

産婦人科

花柳病科

◎入院應需

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

初夏來る

緑の丘！
靜かな水郷を尋ねる……
初夏のピクニックに
一層愉快なMSカメラ
素的に良く寫るので
大評判……

MSカメラ相談部新設

今回皆様の御便宜を計りMSカメラの相談部を新
設致しました、今迄御撮りになつた寫真をよく出
來なかつた方又はこれから御初めになる方で御解
りにならぬ方はどんな事でも御遠慮なく御相談下
さい、皆様の良く御解りになる迄演習して御教へ
致します。

小型判カメラ 附屬品附 金五十錢より各種
ベスト判カメラ 同 金貳圓より各種
名刺判カメラ 同 金四圓より各種
MSカメラ特約店

いづみや玩具店
カメラ部
平 前

揚物其他凡ゆる食用に 滋養豊富な……

鳥の油を!!

おすゝめ致します

四合瓶詰 一本 〇、三〇

鈴木鳥肉店

平町播磨小路(電話六五四番)